

# 学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.185

(財)日本学校保健会

豊かな心を持ち  
生涯を通して逞しく  
生きる子どもの育成  
— 一家庭・地域との連携を通して —  
第40回全国学校保健研究大会の標語

## 年頭所感



(財)日本学校保健会 会長 村瀬敏郎

平成3年の新春を迎え、心をあらたにして学校保健の課題に取り組みたいと思います。昨年は即位の儀も無事に行われ、本年こそ平成の世代が走り出した年といえましょう。すこやかな心とからだという学校保健の旗印も、成熟する平成の日本社会を視野に置いた目標であり、そこには高齢社会という現実が待ち構えています。その21世紀を主役として生きる者こそが現代の子供達なのです。児童・生徒の健全な育成にかかわる学校保健関係者の使命はまことに大なるものがあるといふべきでしょう。

日本学校保健会は皆様の英知を結集して本年度の事業を推進し、日本社会に貢献致したいと存じます。よろしくご後援下さいますよう心からお願い申し上げます。

本年度の学校保健研究大会は奈良県の担当で開催されることになっておりますが、その日には当面する問題解決に関する研究と、実践の成果を、お話し合いできることを期待して年頭のご挨拶といたします。



沖縄県那覇市での第40回大会の開会式で

### 目次

新春座談会	
豊かな心を育てよう	
どう作られるパーソナリティー	… 2～7
平成2年度叙勲授賞功労者	… 8
文部大臣表彰の個人団体	… 9
40回大会記念講演	
ハブと人間の比較生涯論	
吉田 朝啓	… 10
学校保健会だより	… 11

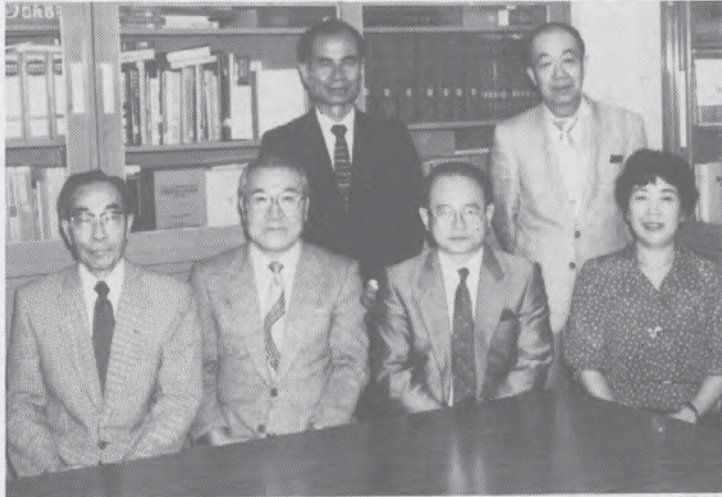
会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。



## 新春座談会

## 豊かな心を育てよう

## = どう作られるパーソナリティ =



## 出席者

神奈川県小児療育相談センター所長

佐々木 正 美 先生

会報「学校保健」編集委員会

杉 浦 稔 委員長

松 本 國 夫 委員

福 原 保 子 //

(写真) 石 川 行 男 //

司 会 (文) 竹 田 鎧 //

学校保健の立場から考えて、今日的な課題として『登校拒否』などがあり、関連してヘルスカウンセリングの技法などもとり上げられてきました。このような問題は社会のあり方、家庭のあり方などと密接に関わり合っていると考えられ、基本的に『人間形成』というところに到着するようです。

新しい年に当り、21世紀への布石として子供たちの“豊かな心”を育くむための方法論などを、今日は佐々木先生を囲んで考えてみました。

## I 親子の絆

司 会 霊長類の研究から、その子育ての実態、親子のあり方などが、人間の場合に極めてよく似ているといわれますが…。

佐々木 これに関しては、アメリカ、ウイスコシン大学のハリー・ハーロウ教授による有名な実験があります。要約しますと、まず生まれて間もない赤毛ザルの赤ちゃんをいくつかのグループに分けて、それぞれのグループ毎に（少しずつ違った）模型の母親をあてがい、子ザル達の心の成長にどう影響して行くかをみるのです。

第1の模型は木造の頭と金網で作られた胴体から出来ていて、胸の中央に哺乳瓶があり、赤ん坊ザルは胴体に登ってオッパイを吸うのです。

第2のグループには、金網の胴体の上に厚手の布（フランネル、毛布）を貼った模型の人工母親を与えます。もちろんオッパイも出ます。

第3のグループには、布製の胴体に“体温”を加え、第4のグループでは、さらに僅かな（自然に近

い）揺れ動きをつけ加えてやるのです。

こうして育てられた赤ん坊ザルが、ある程度大きくなった頃に、一つの実験を行います。すなわち、突然に強い光をあてたり、または哺育室の中に音を立てて歩く小さな熊の玩具などを入れてやります。

その時、子ザル達は恐慌状態におちいりますが、その後の対応にそれぞれ著しい違いを示しました。第1（金網の母）グループの子ザルは部屋の隅で孤独にうづくまってしまいましたが、第3、第4のグループでは、子ザルは“温かい人工母親”にしがみつき、布に顔をうずめて“安心”するのです。（第2グループは中間）実はこのような違いは、かなり決定的なものだということが後で分かりました。

すなわち、その後人間に飼育された場合に、人間への“なつき方”に決定的な差異を示したのです。第1グループの子ザルは、人間を拒否しましたが、第3、第4のグループは、はるかに人なつっこく、飼主を信頼し馴れるのです。いふなれば“社会関係”がうまく行ったのです。

これはどういうことかと申しますと、かつてその



子が母親の子宮の中で感じていた体温と自然の動き、そういった“原体験”に通じるものが、いかに大切に『人格形成』に影響するかを示したものと言えましょう。

**福原** 日頃、子供たちを見て感じるのですが“自分は愛されている、認められている”という存在感をもっている子はイキイキしていますね。

アメリカのハーンという人はストローク（なでさすり、語りかける、ここに親子の情感が生まれる）ということを行っています。そして、空気、水、食物に劣らない大切なものだとも言っています。

**杉浦** サルの赤ちゃんのお話、素晴らしいと思いますが、現実には共働き家庭がかなりあります。そんな場合どうしても赤ちゃんを保育所にあずかってもらう、そうすると夕方、母親が迎えに行ってもなついてくれないという話があります。『何歳くらいまで、親とのスキンシップが大切なのか』と考えさせられますが、いかがでしょうか？

**佐々木** 神奈川県内の多くの市町村で、私は保母さん方と乳児保育について話し合っていますが、こんなふうにするのです。

「子供が泣いたら、言葉で表現出来ない要求を、何でもくみとってやって下さい。それから基本的に子供から離れないで…」と。

そしてここ10年間、保母さん方の自覚のある保育園と他とを比較してきましたが、明らかな（影響の）違いが出ています。

先程の杉浦先生のご質問ですが、私は『お勤めのお母さんが子供さんを保育園から引きとってからの、夜の時間を大切に、子供さんをよく可愛がってあげて』と、お母さん方に話しています。

**福原** 三つ子の魂、百まで、という言葉はやはり現在も生きているのでしょうか？

**佐々木** 子供さんの初期体験が大切という意味で否定できませんね。

それからあわせて自閉症について申しますと、先程の子ザルの実験のうち第一グループ（金網の母）の子ザルの行動と自閉症の行動がよく似ていた（たとえば視線を合わせない）ことから1960～70年代の始め頃までは『初期の母子の関係の悪さが自閉症をひき起こすのではないか？』といわれたことがありましたが、これは誤解であって、自閉症は先天的に脳の障害をともなっているのだということが、最近では分かっています。

## II 子供時代の遊びは

**司会** 人は幼い頃からの“あそび”を通じて、失望や充実感を味わい『大人になるための学習』をし

ているのであろうか、と思われませんが。

**佐々木** 一般に考えられている誤りがあります。それは“勉強や仕事と遊びとは反対のものだという誤解”です。たとえば、子供が勉強していない時、親は子供が遊んでいると思いがちなのですが…実際には何もしていないのかもしれませんが、遊びではないのです。遊びは暇つぶしではなくって“熱中すること”なのです。



佐々木正美先生

重要なポイントは、子供が仲間（友達）とあそぶことの本来的な意味は、遊びの中からルールを作っていく、そしてそれぞれの子供の役割が自然にできて行くところにあります。

たとえば、一本の縄の輪に入って子供たちが電車ごっこをする、その時はみんなそれぞれに運転手、切符切り、お客と役割が決まり、子供たちはその中で大人の社会人になったつもりで、みんなの期待に沿い、自分でもイメージしたとおりの行動がとれているか…自己洞察をします。子供たちは会社へ行くお父さんであったり、動物園の園長さん、またお母さんだったりして、その役に熱中し、大人の世界のルールを真似て守り合っているうちに、仲間との共感が生まれるのです。

**司会** 遊びの中のパーソナリティになり切ることが出来るのでしょうか、そのルールの中で…

**佐々木** そんな子供達が幼児期から小学生になる頃にはルールは次第に厳格になって行く、こうして『遊びの歴史』が続いて来たのです。そして子供達が成長するにつれてルールが発展して、その窮極がスポーツにつながって行きます。そんなふうにしてフェアプレイの精神も培われたと思います。

ところが今はどうでしょう、本来の遊びの積み重ねが忘れられた代りに、地域には少年サッカーや、リトルリーグのチーム作りがあります。しかしここには子供たち自身によるルール作りがなく、従って本当の役割分担や責任感もなく、仲間意識が発生する以前にレギュラーのとり合いが生まれます。もう“遊びの良さ”はないのです。そして、フェアプレイの精神が十分に会得されるとは思われません。

本来、スポーツは価値の高い遊びであって、その中から自己の評価、義務、道徳の観念が生まれて来なければならないのですけれども…

**松本** 最近の中学生をみますと、学校の中では普



通の遊びはしませんですね、10分間の休み、給食を挟んでのフリータイムにも行事や部活動の打合せをします。この生徒たちは放課後それぞれの活動をするのですが、何にもしないで帰る俗称『帰宅部』というのがあります。

私たちは今、部活動を通じて良い意味での、上級生と下級生の関係を作りたいと思っているのです。

先頃、アメリカ西海岸でのホームステイから帰った生徒たちの報告会を開いたのですが、面白い話を聞きました。それは日米合同でソフトボール試合をやった時、日本人はルール通りに打順を決めますが、アメリカの子は思い思いにグローブを持って配置につき、打ちたい者は何回でも打ちたいだけプレートに立つのだそうです。そして彼らはそれぞれの能力に応じて満足していた…というのです。

**佐々木** 日本人は“均一的”にやり過ぎるのかもしれませんがね、単一民族だからでしょうか。

**福原** 子供は活動的なのがアタリマエ、と思っていたのですが、今では少しちがうようですね。たとえばスポーツでも自分の役割を果せない子供がいます。

そんな時、その子なりの能力を汲みとってそれを生かしてくれるリーダーがいればいいのですけれど、それがうまく行かない場合など、ストレスでしょうか、その子は保健室に来たりするのです。

そんな時『どうしたの?』と、額や体に手を当てて聞いてあげるとその子の心は



福原保子委員

和らぐのですけれど。

**佐々木** 役割を果たすということですが、成長期の子供には当然個人差があります。そんな子供たちにとって“許容範囲の大きい集団”の中でなら、役割を果たすことが出来るのですよ。

ところが、集団に大人が入ると許容範囲が狭くなるのです。これに対して、昔の子供達の遊びの世界では、幼児などが入って来ると『この子はオミソだ』ということで、幼児なりに役割を果たせるようにルールを作りかえてやったのですね、ところが現代の子供達ちはルールを作れない、そして遊びの創りかたが下手で“量も少ない”ですね。

それから先程、ストレスと言われましたが、これは人間関係の中でしか出てこないもので、逆説的に申しますと、ストレスを起こすのも治すのも人間関係でしょう。たとえばAの仲間でダメならBのグループで、それもダメなら保健室とか、家庭とかでう

まくストレスを解消できればいい…。

**司会** 友達関係ということはどういうことでしょうか?

**佐々木** まず友達との相互依存の関係が大切です。もちろん、相手に頼るばかりでなく、頼られもする、その調和が大切です。

“人間が成長ともななって社会的に自立していくということは、周囲の人と相互依存、すなわち共存する術を学んでいくということだ”と思います。

### III 父のモデル、大人のモデル

**司会** 現代は“父親不在”の時代とも言われ、たしかに父と子の接触なども少なくなっているようですが、子供の心の成長に落す『父親のカゲ』は?

**杉浦** 今日ではどうも、ママが父親のようになっている場合もあるようですね、私もよく保健室で親ごさんから相談をうけましたが、そんな時には、「子供は親の鏡ですよ、ご自分の姿を映していると思って下さい」と言うのですよ。(同感の声)

**佐々木** おっしゃる通りだと思います。本来家族には父親と母親があり、それぞれの役割があって、いずれも必要なのですが、最近その境界がやや不鮮明になっているようですね。その役割ですが、  
○母親的な世界とは……外では許されないようなことが許される安らぎ、甘えとか、がある平和な世界です。たとえば子供が拙いことを仕出かした場合、母親が『今度はお父さんに黙っていてあげるから、次から気をつけるんだよ』などと言って、かばってくれるような…。

○父親的な世界とは……善悪の判断・生きるための理想など、さらに日常生活の規範を示すこと。いくらかの虚勢もあるかもしれないが『人間かく生きるべし』という姿勢を示すものです。

子供は最初“母性的なもの”に安らぎ、つぎには“父性的なもの”をモデルとして生き、やがては父を乗り越えて行くのです。

また先刻ご指摘があったように、父と母の実際の役割は逆転している場合があるとしても、それなりに明確であれば、それもまた良いのですが、母性的な安らぎも父性的な規律や価値感も両方ともない場合は、これが一番問題になります。

**杉浦** 近年日本人は少産化と核家族化の傾向にあります。子育てには良くない結果をもたらしているように思われます。たとえば、家族内での子供どうしの切磋琢磨が出来ないこと、また家族内でのそれぞれの役割分担が稀薄になっていることなどが感じられます。

子供が台所に入って来ても、昔はお手伝いをさせ



たが、今は邪魔だという。そんなわけで将来大人になる頃に、男女それぞれの役割を果たすための準備が十分出来ないということになりかねませんね。

**佐々木** 私も兄弟の多い方でしたが、同胞が多いということは、それぞれの役割分担、存在感がしっかりして良いと思います。また兄弟ゲンカなどでもどこまで自分の主張が認められるかということを経験できて、相手の立場も理解できるようになります。一人っ子では受け身になりやすい…。

ケンカの後の仲直りなども兄弟の多い子は上手ですけれど、兄弟や友達の少ない現代っ子は仲直りができない。それで互いに遠慮して一線をこえないようにしている。しかし稀にその一線をこえてしまうとルールも加減も分からないために、相手にとんでもない大げがをさせたりしますね。

その点、現代っ子は兄弟姉妹、友達も少ないので人間形成の上で不利にちがいません。

**福原** 人間生活には、思いやりが大切だと思うのですが、それを培うにはどんな条件が必要でしょうか？

**佐々木** やはり自らの主体性が育たなければ、相手の立場を考えることもできないでしょう。

**杉浦** グループの中にある自分、という立場を体験するといいいのではないのでしょうか。

**佐々木** 人は、人間関係の中で“人間”になるのです。ストレスにもあい、また賞讃もされ、人と競争したり、人を助けるなどの行為を体験しながら、仲間達とものごとく“夢中になって熱中できるように”なってこそ、人間は意欲的になり、相手の立場に立ってものを考えられるようになるのだと思います。

**杉浦** 先日、岡本道雄先生のご本を読みましたら『親は（動物でも）子供を可愛がるが、子が親を思うのは人間だけである…』とありました。ここが人間たる理由だと私は思いたいのですが。

#### IV 困難と訓練

**司会** 子供時代に“年齢相応の困難”とか、空腹に耐えるなどの経験をし、それを乗り越えた体験などというものも大切のように思われますが？

**佐々木** 小、中学生時代に友人と協力して困難を克服するという体験、これは素晴らしい。ところが受験勉強は孤独なものですからこういった体験にはまったくつながりません。

息子が行っている中学校の例ですが、卒業前の修学旅行に『鍛練旅行』というのがあります。これは荒地と藪の中を遠く離れた宿所まで歩きぬくという訓練ですが、中々たいへんな苦痛、困難を伴うらしく宿に着いた時にはみんなヨロヨロしているのですが、翌日、帰りの列車の中では同行した友達はみ

んなそれこそ和気あいあい、仲間同志本当に親しくなるそうです。困難を協力して乗り越えたという充足感が素晴らしいですね。この例からみても、困難、空腹、不足、それに連帯の経験は素晴らしいものだと思われます。

もう一つの例ですが、これは第一次のオイルショック、これは一時的ではありましたが日本の若者にも相当なパニックを感じさせたようで、その直後から大学生の講義への出席率がぐーんと上ったそうです。このような緊張感があるかぎり日本も大丈夫という気がします。もっとも、すぐにまた怠け癖も出て来たようですが…。(笑)

**松本** 私の中学校は東京にあるのですが、三ヵ年の中に一度、校区の林間施設で『移動教室』を行っています。先年には2年生の約200人を連れて、長野県の野辺山高原で約4時間、雨の中、オリエンテーリングを行ないました。その方法は生徒達が自分で選んだコースをチェックポイントを経て出発点へ帰ってくるのですが、当日は台風の余波で大変な風雨でした。



松本 國夫 委員

ところが都会育ちの子供達は風雨から身体を守る術を知らない、リュックの中にカッパや傘があるのに『出すのがカッパイ』と出して出さず、濡れっ放しで歩くのです。そして中には牧場の柵に通っている弱い電流に触れて驚く子もいて、私達はいろいろと心配させられました。

しかし、今ふり返ってみて大変良かったと思っています。と申しますのは強い子が弱い子をかばってやったり、とてもいい“仲間意識”が培われたようでした。

**佐々木** そういった体験を日常生活の中に持たせてやりたいですね、現代っ子の不幸は“そのもの”を与えてやらなければ体験できないということにあるのですから。

**松本** それから帰校後でしたが、担任教師が作文を書かせたのです。『友達とともに4日間、山の中で暮らして、良かったと思うことを書きなさい』と。そうしたら皆素晴らしい作文でした。たとえばA君はトイレの清掃を自分から進んでやっていた。B君はゴール近くになって荷物を持ってくれた。C子君は水汲みをした…。等々と友達の行為をたたえる内容が多かったのです。

私自身それを読んで生徒たちの体験から得た友情



に共感し、意を強くしました。後でそれらを印刷して全員に配りました。このことは子供達の将来に、一つの力になるかもしれません。

## V 学習障害(LD) 児とは

**司 会** 私たちにとって対応のむずかしい対象として、登校拒否のほかに学習障害児の問題がありますが、その概念と対応法などをお伺いしたいです。

**佐々木** 学習障害児発見の緒はまず、『なぜこの子は学校の勉強もうまく行かないのだろうか?』と、疑問をもつところにあります。

学習障害児の特徴は、一見、手足の運動、目や耳の感覚、知能などに障害はないのです。しかし多様な機能を同時に総合的に働かせることがむずかしいのです。すなわち、目で見ることではでき、上下肢の運動もできるのですが、縄跳びやキャッチボールのような統合的な運動がうまく行かないのです。

けれども単純なあるいは単調でパターン化されたことはよくできます。たとえば歴史の年表を覚えるとか、計算をするとかはうまくできるのです。しかし応用問題となるとうまくできないのですね。

それから場所の雰囲気から逸脱した行動をとりがちです。一寸嬉しいと喜び過ぎたり、ささいなことで怒ったりするのです。そんな事情によって周囲の皆から“自分勝手な人間”と誤解されやすく、またそのために仲間からいじめの対象にされやすいのです。そして、この子達は“自分が仲間と同じようにはできない”ということを実感していて、非常に傷ついているのです。

LD児は従来の精神遅滞児とは基本的に違っていますが、しばしば我がままな子、躰けのできていない子であると誤解されるのです。こういった子供は全児童の5%前後は潜在するといわれています。

とにかくこの学習障害というのは、その子の体質や、個性とも考えられます。ですから、ゆっくりやれば分かるのに、せっかちにワーンと教えると分からないのです。そんなわけで、その子の特質をよく理解した教育が必要になるのです。



杉 浦 稔 委員長

**杉 浦** うーん、これは就学時の検診でも一寸見つかりませんね…。

**佐々木** 分かり易い特徴といえば集中力の悪さ、落つきの無さでしょうか。

**福 原** 私が以前扱った子で、今では成人している人ですが、全国の駅の名前などは全部覚えていたのです

けれど、他のことがうまく行かなくて結局、自閉症とされていた子がいました。この子などもいろいろと(ドクターと教師との)連携プレイで何とか引っぱって来たのです。今のお話でいろいろと考えさせられます。

**佐々木** そうですね。やはり連携が大切ですね。

**松 本** 先生のご指摘を伺って、私も以前に出会った生徒を思い出しました。この子は上級生が50分かかる問題を18分で正解するのですけれども、同年の友達のスピードのある行動にはついていけない、また不潔感がある、落ちつきがないなどでクラスからはみ出してしまいました。それを何とか個人的に面倒をみたのですが、まだ最終的結果は不明です。

それでLD児への接し方はどのようにしたらいいのでしょうか? また最近では40人学級も出来ました。それでも全部の生徒に授業を理解させるのは大変だという声が学校の教師にはあります。授業についていけない子には、一斉指導の中で言葉をかけ、手をかけて個人指導の機会を多くしているのですが。

**佐々木** 先生方に『こうなさるべき』と申し上げる程ではありませんが、強いて言えば“子供達を育てる基本は個人差をみて行なう”ということでしょうね。どんな子にもかけがえのない良さがありますから、親、教師、医師などが連れいしてその良さを見出し、みとめ、讃えてやることでしょね。

**松 本** 私達教師にとって、子供たちの学習意欲をかき立てることは永遠のテーマです。その点は?

**佐々木** 意欲のない子というのは、せっかかもっているその子の良さが評価されていない例が多いですね、親、教師、医師などが広い価値感と共感性とをもって接してやれば、必ずその心は生徒に伝わります。

**松 本** 個人を見つめることの大切さはよく分かりました。私はそれぞれの子供に“もう少し手を伸ばせば届く目あて”を言ってやっています。

ただ、一人の子だけを見つめていると、その子を甘やかしているように、周囲の子供から見られやすいということもあります。

**佐々木** 私達、精神科の医師の場合、しばしば一病棟(40~50人収容)を一人で管理(ケア)しています。そして仮りにその中に分裂病の患者さんが30人いたとしても、基本的には、二人として同じ処方の薬を出している例はありません。やはり常に個人差を考えて対応しています。

**福 原** いつも無表情な女の子がいましたが、ある時私が『一寸笑ってごらん』と申しましたら、とてもいい笑顔なのです。それで『そのスマイル、とっても可愛いいわよ』と言ってあげたら、廊下で出合った時などにも笑ってくれるようになりました。



佐々木 それは素晴らしいことですね。

## VI 豊かな心を育てるには

司会 座談のしめくりとして、豊かな心を育てるにはどうしたらよいか、を伺いたいと思います。それはまず親の心の育成でしょうか、子供どうし、いや大人も含めての連帯感でしょうか？

佐々木 人間関係の中で豊かな心(これこそ最も人間的な心)を育てるためには、経験する人間関係の“量”が大切です。質を問う前に量が重要です。もう少し詳しく申しますと、今日の子供にまず大切なのはその量です。そのことを念頭において質のことを考えますと、人間関係のありかたとしては、まず最初に『自分の言うことを十分聞いてくれる人』が必要だということです。

幼い時期であればそれは母親、そして家族ですね。やがて親類の人や近所の人に、その関係は広がっていきますが、まず子供は自分のいうことを十分聞いてもらった後からでないと、他人のいうことも聞けない…ということです。

○豊かな心とは“周囲に応える心”です。すなわち子供は自分の言いたいことを十分に聞いてもらい、自分が受容され評価されていると感じた時に、はじめて周囲からの要求に応えることができるのです。

そしてこういったことを多く体験することが非常に大切です。すなわち、人間関係の質以前に、あるいは質と同時に量が必要になるのです。

○学童期の人間関係について、エリクソンは『友達から物を分かち与えられたり、教えられたりする。また、自分も相手に自らの経験や知識を与えたり教えたりする体験を十分にやらないと、健全な社会人にはなれない』と言っています。

すなわち、親や先生のような大人からものを学ぶだけでは、健全な社会的人格は形成されない、と言っているのです。

例えば私達の子供の頃ならば、友達から昆虫の飼い方や竹トンボの作り方などを教わったのですね。こんなことは学問ではありませんが、しかし、日常の生活や遊びの中でこのようなことを教え合うこと、こういった経験のありかたこそが、文化の担い手としての伝承のしかたであり、社会人として成熟して行くための基礎的でエッセンシャルなプロセスなのです。

司会 最後にご出席の皆様から一言ずつどうぞ。

杉浦 学校全体で行なう催し事などを数多く開くのも良いことだと思います。たとえば運動会とか遠足など、こういったところから連帯感も生まれてくるでしょう。

また、昨年は校門の扉での圧死事件とか、髪形や服装など校則が厳しすぎる、細かすぎる、とかの話題がありました。これなども現場からの話では…最近の子供達は先生が注意すると「そんなことは生徒手帖の校則に書いてない」と反発するので、だんだん(校則が)細かくなってしまったのである…ということでした。

今日のお話にありました、個人差とか許容範囲などの面を、(学校の)先生も親も頭を柔軟にして考えていきたいですね。

松本 まず『今時の若い者は素晴らしい』といいたいですね。それこそ限らない可能性を持っていますから。ただ“原体験からみちびかれる豊かさ”を忘れているのではないかと、思います。

今日のお話を聞いて、教師として“生徒の評価基準”を考え直さなければならぬと思いました。

学校教師の役割を私達も勉強しなおす必要があります、教師と保護者の信頼関係が一そう大切です。

現在、海外88の国や地域に日本人の小・中学生約4万人が学んでいます。どこの学校にも帰国子女が多い時代です。そんな時、日本の伝統文化を知り、故郷としての学校を誇りに思ってくれるような教育をしたい。また、子供達が「たくましく生きていけるような体験・実感を植えつけ、国際化の時代に、心の無国籍者にしたくない」と思います。

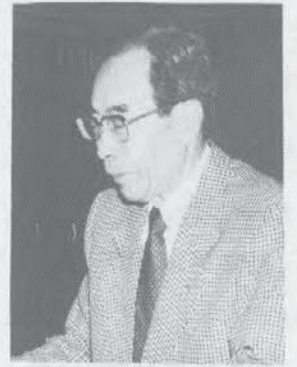
福原 豊かな人格が形成されるために、何が大切かという素晴らしい勉強をさせて戴きました。まず“家庭内での経験”これが大切です。5分間の出会いでも、「お母さん」と子供から話かけられたら、その子の目を見つめて真剣に聞いてあげることが大切なのではないでしょうか？

私も学校の中などで、子供の目を見つめながら「○君、どう？」と真剣に聞いてあげます。このような接触が大切なのだと思います。

そして、子供達に内なるアイデンティティを確立させてやりたいと思います。

司会 今日はいろいろと有難うございました。

学習障害児(LD)とは、1968年に初めて包括的定義がなされた。「微細脳障害(MBD)」ともいっていたが現在は学習障害(Learning Disability)という、中枢神経機能の偏りが原因で、認知機能など神経心理学的な特性を症候群的に持っている児童をいう。



竹田 鐘 委員



# 平成2年度 叙勲・授賞された学校保健の功労者 《春》 《秋》

## ◎学校医

### 勲四等瑞宝章

寺岡 正 (広島県)

### 勲五等旭日章

神林 義教 (長野県) 高山 三郎 (埼玉県)

### 勲五等瑞宝章

西川 秀夫 (和歌山県) 高島 三郎 (長野県)

齋藤 正壽 (群馬県) 栗生 敏春 (愛知県)

朽木 英一 (北海道) 栗林 初男 (青森県)

花岡 正巳 (福岡県) 木口 浩三 (岡山県)

大内 行雄 (神奈川県)

## ◎学校歯科医

### 勲五等旭日章

永山 三郎 (鹿児島県) 鈴木吉平 (埼玉県)

久米 悟 (徳島県)

### 勲五等瑞宝章

尾崎 藤義 (福岡県) 佐藤 武夫 (福島県)

高松 眞一 (高知県) 加部 美男 (群馬県)

岡村 一夫 (静岡県) 永井 一郎 (高知県)

田中 典臣 (神奈川県) 野田 久雄 (長崎県)

池田 清 (千葉県) 葛城 徳彦 (茨城県)

## ◎学校医

### 勲五等旭日章

長谷川英夫 (静岡県) 宮地 重樹 (広島県)

藤井 徳蔵 (福島県) 八田 博英 (広島県)

### 勲五等瑞宝章

菅原 英夫 (北海道) 成田みつ子 (青森県)

根本丘宇司 (茨城県) 山田 俊子 (群馬県)

塩原 英雄 (埼玉県) 高津 四郎 (千葉県)

長澤 太郎 (富山県) 轟 敏郎 (長野県)

川村 春雄 (静岡県) 今泉 文雄 (愛知県)

岡 七三 (三重県) 岩崎 純郎 (滋賀県)

中田 正愛 (兵庫県) 鈴間伊登子 (和歌山県)

塚本 信之 (神奈川県)

## ◎学校歯科医

### 勲五等旭日章

米田 實 (広島県) 久本 精一 (香川県)

### 勲五等瑞宝章

千葉 榮一 (岩手県) 葭田 國光 (埼玉県)

鈴木 寛 (東京都) 松井 健三 (京都府)

中野 稔 (徳島県)

## ◎学校薬剤師

### 勲四等瑞宝章

飯森 関男 (東京都)

## ◎養護教諭

### 勲四等瑞宝章

安藤 志ま (愛知県)

## 虎の門(8)

朝めざめたとき、最初に頭に浮んでくる内容で、その日の充実度がきまる。学校保健センター的事業の「疲労と休養委員会」が、全国の小中学生13,000人を対象に調査した資料がある。

「疲れを感じるときは、どんなときですか。」と問いかけたところ、中学3年(男)「学校での勉強やテス

ト」と答えたものが併せて63%、朝のめざめは、どうなっているのだろう。

学校生活を楽しくするには、まず、先生と先生、先生と子どもたちが仲よく、勉強ずきで、じょうぶであることだ。

先生といるだけで楽しい。先生の得意な教科が好きになる。先生

## 楽しい学校

の癖まで真似たくなる。生涯の生活まで左右される。先生が燃えて生徒が燃える。鉄鉱石も燃えて鉄になる。

「人は、人と文化に邂逅し、開眼し、そして瞑目する」と。(亀井勝一郎)

編集委員 石井宗一



# 第40回 全国学校保健研究大会

## 文部大臣表彰の個人・学校・団体

### ◎学校医(50名)

官尾 哲男(北海道)	南部 春生(北海道)	大関 堯(青森県)	廣岡 豊(岩手県)
小早川源郎(岩手県)	成田 光(宮城県)	小山田富彦(秋田県)	小林 盛治(山形県)
大原 甫(福島県)	鯨井 芳郎(茨城県)	片山 一郎(栃木県)	松田七三男(群馬県)
佐藤 泰三(埼玉県)	濱野 久雄(千葉県)	丸山 秀雄(東京都)	小山 重雄(東京都)
鼠入 秀夫(東京都)	栗原 毅夫(神奈川県)	青木太三郎(神奈川県)	森久保 茂(神奈川県)
宮腰 隆勝(富山県)	加藤外喜雄(石川県)	多賀谷正一良(福井県)	安木 良平(長野県)
國枝 武直(岐阜県)	白井 敏夫(愛知県)	大橋 克彦(愛知県)	眞弓 久(三重県)
山中 孟(滋賀県)	谷内 岩男(大阪府)	中井 昌夫(兵庫県)	前之園思無邪(奈良県)
土山 哲次(和歌山県)	武野 正弘(和歌山県)	齋藤 鈴子(鳥取県)	近藤 浩平(島根県)
杉本 純雄(広島県)	松原 覺(広島県)	森口 貞範(徳島県)	仲西 弘孝(香川県)
大西 克保(福岡県)	田中 保善(佐賀県)	谷川 裕(長崎県)	出口 一洋(長崎県)
三雲 勝(熊本県)	須小 明(大分県)	酒井 貞治(大分県)	中野 宏(宮崎県)
田中 嘉治(宮崎県)	渡慶次 寛(沖縄県)		

### ◎学校歯科医(33名)

宮武 忠史(北海道)	川嶋 慶三(青森県)	瓦田 純子(岩手県)	上原 孝悌(宮城県)
永沼 誠一(福島県)	宮本 要(茨城県)	田中 順(群馬県)	角田 裕(埼玉県)
篠塚 恵(千葉県)	大場 重信(東京都)	小宮 孝治(東京都)	長谷川弘和(神奈川県)
小清水 堯(神奈川県)	関川嘉治郎(新潟県)	島 秀雄(富山県)	仲谷 純三(石川県)
羽田 義彦(岐阜県)	後藤美喜保(静岡県)	中塚 崇(愛知県)	水谷 光孝(京都府)
阪本 義樹(大阪府)	八竹 良清(兵庫県)	大橋 紀男(和歌山県)	西村 一乘(島根県)
田中 秀房(広島県)	大西 文男(徳島県)	島田 清(香川県)	長岡 守(高知県)
矢野 正武(福岡県)	竹村 信(長崎県)	宇治 寿康(熊本県)	新森 安吉(宮崎県)
瀬底 正俊(沖縄県)			

### ◎学校薬剤師(16名)

長谷川喜秀(北海道)	坂本 要一(青森県)	長島 武夫(茨城県)	栗原 源博(埼玉県)
鈴木 益年(神奈川県)	川副 茂(滋賀県)	堤 英男(京都府)	辻澤 和夫(大阪府)
森田 直男(奈良県)	森田 寿雄(鳥取県)	吉田 哲彦(岡山県)	唐本 征江(山口県)
山田信次郎(高知県)	奥村 陸平(福岡県)	瀬尾 昭(鹿児島県)	太田 節子(沖縄県)

### ◎校長(7名)

橋本 三善(栃木県)	廣瀬 力(山梨県)	船野 隆(滋賀県)	八幡 忠良(京都府)
大崎 武晴(島根県)	松尾 暢夫(福岡県)	嘉手刈喜郎(沖縄県)	

### ◎保健主事(1名)

井上 隆夫(高知県)

### ◎養護教諭(7名)

西川 雅子(栃木県)	田沢 明美(山梨県)	木下 純子(長野県)	菅原砂重子(京都府)
青山 泰子(兵庫県)	金城キミ子(沖縄県)	仲間ヨシ子(沖縄県)	

### ◎学校(8校)

青森県むつ市立関根小学校	福井県越前町城崎南小学校	静岡県富士宮市立西富士中学校
三重県伊賀町立壬生野小学校	岡山県赤坂町立石相小学校	愛媛県松野町立松野東小学校
愛媛県玉川町立鴨部小学校	沖縄県今帰仁村立兼次小学校	

### ◎団体(8団体)

山形県東根市小学校減塩教育推進協議会	東京都練馬区学校薬剤師会	東京都大田区学校保健会
東京都目黒区学校保健会	京都府船井郡学校保健会	大阪府大阪市城東区学校保健協議会
山口県柳井市学校保健連合会	鹿児島県枕崎市学校保健会	

\*上記の叙勲・表彰された方々について、本会より例年どおり個人には銀盃、学校・団体には記念品代を贈呈しました。



### 第40回 全国学校保健研究大会 記念講演

# ハブと人間：比較生涯論

沖縄県公害衛生研究所 所 長 吉 田 朝 啓

ハブの生涯を一本の物差しと考えて、人の一生と比較をしてみたい。ハブの生態系の歴史を考えると、約200万年前、琉球列島は南中国、台湾まで陸続きであったといわれ、大陸の影響を受けた動物が住んでいる。一方、九州の列島とは、深い海溝があり、ハブなどの小動物が渡ることができず、現在までイリオモテヤマネコ、ヤンバルクイナなどと一緒に島に残されている。従ってマムシは琉球列島にはいない。

沖縄県は60歳以上の長寿者が全国一の県であり、さまざまな文化を育んできた。ハブは自然のままに生き、そこに違いがある。

#### ハブの生活サイクル

**交尾・受精** 春3～4月頃、メスのハブは、首肩のウロコの裏の粘膜より、フェロモン（ホルモンの一種で香がある）を出す。オスのハブは2枚に横に分かれた舌で、その部分を刺激し、同意を得れば交尾をする。ペニスは2本あり、内側にイボ様の突起物があって、しっかり交尾ができるようになっている。一年に一回限りである。

**産卵・孵化** 受精すると、7月末にマユ様の卵を産む。場所は温度26～30℃、湿度90%以上、適度な光と気流があって、振動のない空洞という5つの厳密な条件が選ばれる。通常10コ位の卵を産み、多くは卵を抱き9月中旬に孵化する。

**索敵・捕食** 孵化したハブは約30cmで、すでに毒を持ち、ゴキブリ、バッタ、草など、回りの小動物を食べ、精巧な探索と摂取をする。

**脱皮・成長** 年4回脱皮し、口の部分を木、岩などにひっかけて口から脱皮し、その度に大きく成長する。2年半で適齢期となる。

**蟄居・越冬** 冬は成長せず冬眠し、階段状（ハイト・スパート）の発育曲線を描き、全く天の示すままに

自然に生き一生を終える。  
**人の一生**

人生には大きく分けて三つの関門がある。

**第一の関門**は誕生前後の胎児期から幼児期である。精子と卵子が受精し、胎内で発育し、10ヵ月後に出産。その後2歳位までの幼児期にさまざまな原因が働いて人生のスタートを狂わせようとしている。母と胎児は胎盤を通して、酸素、栄養素、ホルモン、免疫物質、化学物質、病原体を受け、胎児は炭酸ガス、老廃物質を母親に出す。ウイルスなどによって母子感染がおり、発病後出生することもある。

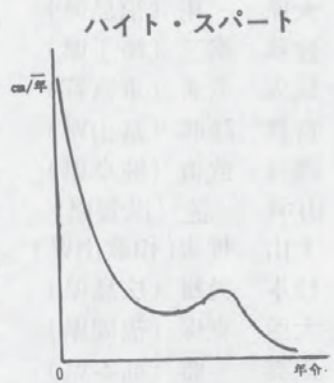
**第二の関門**は幼少年期～青壮年期である。幼児期、学童期、思春期にさしかかるころで、子供から大人への転換期にあたり、心身のバランスが大きく乱れる。女は女性ホルモン、男は男性ホルモンによって生殖系統は著しく成長する。スキヤモンの発育曲線に従って、20歳が脳脊髄、リンパ腺、骨格筋肉、生殖系統の4曲線が完成される時期といわれている。

スポーツと食事の摂取がこの時期に大切で後半の人生に大きく影響する。発育曲線は個人差がありバラバラに発育過程をとるために体の乱れが生じてくる。

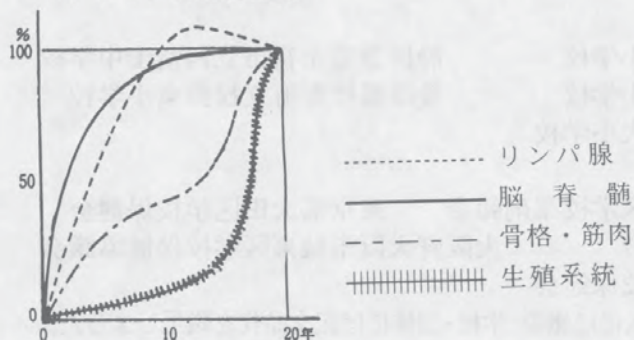
**第三の関門**は青壮年期から実年・老年期である。さまざまなストレス、健康習慣の影響、特にタバコの害は肺機能の低下が起き、健康に対して悪い影響を与えることはいうまでもない。種々の難関を通り社会に貢献・奉仕する世代になって不規則な習慣が健康に影響し、死に至ってはなにもならない。

ハブは大自然の申し子のように自らは攻撃をしかけない。1m以内に近づくと襲うが、専主防衛である。沖縄の手造の緋の染織物は同じものがないのと同様に、ハブ一匹一匹の模様は異っている。ハブに限らず生きるものとして神がこの世に送り出した以上、種を絶さぬよう、人が住宅地に住むと同じように、森林に住ませるようにしたいと考えている。人生に難関ありと申し上げて、ハブの生態と比較して話をした。

文責・編集委員 杉下順一郎



スキヤモンの発育曲線





## 日本学校保健会だより

## 平成2年度 全国学校保健協議大会

平成2年度の全国学校保健協議大会は、去る平成2年11月16日(金)の午後4時から、沖縄県那覇市で開催されていた第40回全国学校保健研究大会(15・16日)に引き続いて、同市内のパシフィックホテル沖縄において開催された。

2日間の研究大会終了後であり、しかも、そのあといろいろな計画が考えられていたにもかかわらず昨年とほぼ同数の140名近い出席者があったことはこの協議大会によせる関心の深さの一端とも受け止められる。

本会としては、この全国からよせられた期待と情熱を尊重し、学校保健の充実推進にむけて全力をあげていきたい。

協議大会は、村瀬本会会長、富岡文部省体育局長学校健康教育課長のあいさつに始まり、議長団に選出された、和久井本会専務理事、松葉茨城県学校保健会長(前年度開催県)、比嘉沖縄県学校保健会長(本年度開催県)、田中奈良県学校保健会副会長(来年度開催県)の4氏によって運営された。

まず、平成元年度協議事項の処理に関して、松葉議長(茨城県学校保健会長)から文部省、各加盟団体・都道府県指定都市教育委員会にあてた要望、及び、各加盟団体からの研究課題実施成果などについての概要が報告された。〔各加盟団体からの研究課題に対する取組件数が、年々大きく増加していることに注目したい。(S61 5県、S62 10県、S63 18県

2ブロック、H元 18県、H2 17県1ブロック))  
次いで本年度協議題の協議に入った。

本年度の協議題の決定にあたっては、一昨年から実施しているように、本協議大会の充実をはかるねらいで学校保健の今日的課題を中心に各ブロックからの協議事項を集約し、該当するブロックの代表から提案理由の説明をもとに、参加者全員で集中的に協議した。

## ○ 平成2年度 協議題

## ① 学校における健康教育の充実、強化について。

- (1) 健康教育の推進について
- (2) 児童生徒の疾病に関する事項について
- (3) 小児成人病対策について
- (4) 学校保健組織活動の充実と強化について
- (5) 教職員の学校保健に対する資質の充実と強化
- (6) 保健室の拡充と保健(健康)教室の設置
- (7) 健康診断及び事後措置のシステム化について  
充実と実践について

## ② 各加盟団体提出の協議事項について

中国ブロックより「産業医」について質問があり、矢野本会副会長・富岡課長より説明がなされた。

協議は参加者各位の熱心な討議により、あたえられた時間内に非常に充実した掘り下げが行われた。

この問題の処理とあわせて、各ブロックから提出された協議事項をふまえた、要望事項、研究課題の作成等については、議長団に一任された。

## 新学校保健実務必携

〔第四次改訂版〕

渋谷敏三・能美光房・国崎弘 共著  
★B6・960頁・定価3,500円(〒310)

学校保健、学校安全および災害共済給付等について、平易に具体的に解説した、学校保健関係者必携の実務手引書。新学習指導要領の告示等、最近の諸制度の改正をふまえ、関係する統計・資料も網羅・収録した最新版。

## 就学児の保健指導のために

誕生から就学までの子育て

財団法人日本学校保健会 編 ★A5・128頁・定価1,030円(〒260)

児童生徒一人ひとりの成長・発達・生活を把握し、適切な保健指導に役立つよう、心身の問題の基本的事項を中心にわかりやすくまとめた手引書。



第一法規

〒107 東京都港区南青山2-11-17  
☎(03)3404-2251/FAX(03)3479-1747

※定価は税込みです。



発行 日本学校保健会 村瀬 敏郎 〒105 東京都港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル 電話(3501)3785・0968 振替口座 東京4-98761 頒価1部100円(送料共)

育ちざかりのひと粒!

歯・骨を丈夫に……



ゼリー状ドロップ剤

# カワイ肝油ドロップ

河合製薬株式会社

東京都中野区新井2丁目51番8号



学童の集団検診にお選びください。

エームスは新しい目で健康をみつめます



尿中白血球反応をプラスしたエームスの尿検査試験紙

エームス尿検査試験紙尿中pH・ブドウ糖・蛋白質・潜血検査用

**ヘマコンビスティックス**

体外診断用医薬品

エームス尿検査試験紙尿中ブドウ糖・比重・pH・潜血・蛋白質・潜血検査用

**ネフロスティックス-L**

体外診断用医薬品

マイルス・三共株式会社

東京都中央区銀座1丁目9番7号

販売元:

三共株式会社

東京都中央区銀座2丁目7番12号 〒104 ☎(03)3562-0411

お問い合わせコーナー

**☎0120-123119**

製薬に関するお問い合わせはマイルス・三共にお問い合せコーナーへ(料金無料) 平日9:00-17:00

JU1390-S

プール用殺菌・消毒剤

# ネオクロール

四国化成工業株式会社

東京本社 大阪支社 福岡営業所 名古屋営業所 徳島第2工場  
0472(96)8181 06(251)4111 092(431)4111 052(211)4111 0886(98)4111



## 教育(呼吸・吸圧)シューズ

日本学校保健会推薦 No. 766号

**JES**に学問を!

科学された教育(吸圧)シューズ!

アウトソール ミッドソール 中敷  
(ラバー) (衝撃吸収材) (ラバースポンジ)  
三層式ソール



日本教育シューズ協議会 TEL(0862)72-5463

手を洗うと、殺菌・消毒も同時にできる!

# シャボネット®石鹸液

多人数でお使いになるときは、連結式手洗い装置をご利用ください。

日本学校保健会 推せん品

サラヤ株式会社 ☎(06)797-2525

東京サラヤ株式会社 ☎(03)3472-1521

〈本会報は、拠出金と、本会への(財)日本船舶振興会助成金により作成しました〉